



桐生ロータリークラブ週報

2007年

国際ロータリー第2840地区 2007-2008年度 国際ロータリーのテーマ



ROTARY SHARES

R.I 会長 ウィルフレッド J. ウィルキンソン

善意というものがいいなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

バストガバナー 前原勝樹

会長 佐々木 裕 幹事 森 末廣

クラブ会報・広報委員会 園田 誠・吉田和夫・三橋輝英・清沢元喜

10月1日号

第2625回例会

(9月10日(月) 第2例会)

- 1. 点鐘
- 2. ロータリーソング齊唱
- 3. 来訪者紹介
- 4. 出席100%表彰
- 5. 会長の時間
- 6. 幹事報告

- 7. 委員会報告
- 8. 善行青少年表彰 新世代奉仕委員会担当
- 9. 卓話 「善行青少年表彰によせて」
桐生第一高等学校インターラクトクラブ
顧問 西尾仁美先生
- 10. 点鐘

ようこそビジター

〈卓話者〉 桐生第一高等学校インターラクトクラブ
顧問 西尾仁美先生 〈米山奨学生〉 ヤオ, クアディオ・ジェマエル君

出席100%表彰

館 盛治君 22回
吉田 栄佐君 16回



会長の時間

- 早いもので野原のススキが銀色に輝き始め秋を感じる頃となりました。本日善行青少年表彰を受賞する23名の皆さん、ようこそおいで下さいました。お祝いの言葉は、後で述べさせて頂きますので除かせていただきます。
- ①本日、ライラ研修実行委員会が夜7時より俱楽部1号室にて開催されます。
- ②次回9月17日(月)は敬老の日で祝日にて休会となります。
- ③9月24日(月)も振替休日ですが、太田にて識字率セミナーが開催され出席する予定です。
- ④9月25日(火)はいよいよ指名委員会が吉野家さんにて6:30より開催され2009~2010年の次々年度会長予定者が指名されることとなります。関係各位の皆さんにはご出席の程よろしくお願いを申し上げます。
- ⑤9月2日(日)伊香保国際CCにて、地区大会ゴルフコンペが開催され4名が参加して、桐生RCは団体で6位入賞、個人では3位に大島君、9位本田君が上位入賞致しました。おめでとうございます。

幹事報告

- 桐生西RCより会員名簿が届いております。
- 桐生南、桐生西、桐生中央、桐生赤城の各RCより週報到着。
- 9月17日(月)、24日(月)は祝日のため例会が2週続けて休会です。次回の例会は10月1日(月)ですので、皆様お間違えのないようお気をつけ下さい。尚、10月1日の例会はライラ研修直前の重要な例会となります。例会内容につきましては、本日の実行委員会議で決定し、後日FAXいたします。
- 明日9月11日(火)~17日(月)は事務局が休暇となります。その間の緊急連絡は、幹事へお願い致します。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成19年9月10日)：総員68名・出席44名
平成19年8月27日例会修正出席率：77.35%

ニコニコボックス

佐々木裕君…本日の記念卓話講師に第一高校の西尾仁美先生をお迎えして。お話しを楽しみにしております。/
森 末廣君…西尾先生、卓話ありがとうございます。/
須永博之君…善行青少年表彰、誠におめでとうございます。
また、西尾先生卓話ありがとうございます。/
館 盛治君・吉田栄佐君…出席100%／藤井征夫君…桐生が台風の目に入ったのは何十年振りでしょうか？/
石島久司君…写真をいただきました。

例会場 桐生俱楽部 TEL45-1513 例会日 毎月曜日 12:30PM

ホームページ <http://www.kiryu.co.jp/kiryurc/>

メール kiryu-rc@ktv.ne.jp

2007~2008年度

桐生ロータリークラブ善行青少年表彰式

桐生俱楽部2階広間

次 第
司会 新世代奉仕委員 蓮 直孝

1. 開 会
2. 挨 拶 新世代奉仕委員長 須永 博之
3. 受賞者の紹介 新世代奉仕委員長 須永 博之
4. 表 彰 受賞者代表 群馬県立桐生南高等学校 鳥海 恵里さん
5. 会長祝辞 桐生ロータリークラブ会長 佐々木 裕
6. 受賞者代表謝辞 受賞者代表 群馬県立桐生南高等学校 鳥海 恵里さん
7. 閉 会
8. 記念卓話 「善行青少年表彰によせて」

桐生第一高等学校 インターアクトクラブ 顧問 西尾 仁美先生

受賞者の紹介

(敬称略)

学 校 名	被表彰者名	引 率 者
桐生市立東中学校	須田 純之	鈴木 才樹
桐生市立西中学校	百海 智樹	吉川かおる
桐生市立南中学校	松宮 万莉	金崎 豊彦
桐生市立昭和中学校	周東由紀子	中島 繁
桐生市立境野中学校	稲木麻巳子	木村ちえこ
桐生市立広沢中学校	新井 圭修	下山 秀人
桐生市立梅田中学校	澤井みなみ	加藤 秀幸
桐生市立相生中学校	和田 朱威	植松 紀子
桐生市立川内中学校	金井 尚子	小柴 孝志
桐生市立桜木中学校	山同 康太	糀山 真二
桐生市立菱中学校	大澤 健吾	栗原 政夫
桐生市立新里中学校	石原 鈴乃	高橋 光男
桐生市立黒保根中学校	尾池 美咲	松島賢次郎
樹徳中学校	梅澤 美奈見	岡村 祐一
群馬県立桐生高等学校	岡部 裕樹	茂木 孝浩
群馬県立桐生工業高等学校	小川 裕希	長谷川康則
群馬県立桐生女子高等学校	竹内 礼奈	川上 俊之
群馬県立桐生南高等学校	鳥海 恵里	今泉 明恵
群馬県立桐生西高等学校	小柴 未妃	関口 莊右
桐生市立商業高等学校	吉田 真奈実	鈴木 崇元
桐生第一高等学校	松島 愛美	齋藤 康次
樹徳高等学校	稲垣 健造	小澤 博行
群馬県立あさひ養護学校	小嶋 達矢	大熊 秀樹



会長祝辞

佐々木 裕君

一言お祝いの言葉を申し上げます。只今、善行青少年表彰を受賞されました23名の皆さん、大変おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

皆さんはそれぞれの学校の推薦を頂いて、日頃の学校や地域での素晴らしい活動が認められて受賞が決定した訳です。皆さんの受賞の理由はいろいろとあります、学校での活動そして家庭や地域での奉仕や日々の努力や善行が認められての事で、心より敬意を表します。

最近の社会は何か殺伐として、思いやりの心が欠如している様に思います。それは、人間どうしは勿論ですが、それ以外の相手、小動物や例えば植物一つとっても「物」に対する思いやりや愛情が欠けている様に常々感じられます。

私達の活動しているロータリーは、職業を通して社会

奉仕を柱として日々努力をしており、今年度の国際ロータリークラブの目標は“ROTARY SHARES”です。訳しますと「ロータリーは分かちあいの心」となり、それは思いやりの心に通じると思います。本日の受賞を契機に、ますますの努力を続けて素晴らしい社会人として成長されてゆく事を念じ乍ら、ロータリークラブを代表してのお祝いの言葉とさせて頂きます。

卓 話

「善行青少年表彰によせて」

桐生第一高等学校 インターアクトクラブ
顧問 西尾 仁美先生

本日は桐生ロータリークラブ「善行青少年表彰」を受賞された皆さんに対して、心よりお祝い申し上げます。今から1分間、目をつぶって下さい。どうして自分が表彰されたのか自分なりに過去の行いを振り返って見てください。今回皆さん方が善行青少年表彰を受賞したのは、実は皆さんのが普段の行いを周りの方がよく理解し、応援してくれたからこそだということを気づいて欲しいと思います。「良い行いをしよう」と意識したかどうか別として、何かに対して一生懸命取り組んでいる人をみると、その人のことを応援したいと思う人が必ず現れるものです。皆さんに対する評価は、今回は身近な先生が中心となっていて下さったと思いますが、実は、皆さんにもっと身近な家族や友人が皆さんのことときつと評価していると思います。それがたまたま賞という形になったかならないかという違いなだけなのです。

「ロータリークラブとは何だろう」

ロータリークラブの説明をここで簡単にします

「違があるから面白い」

私の出身は愛知県の小牧市という町です。愛知県の県庁所在地は名古屋市ですが、その近くの小さな町で生まれました。話をきいているうちに私のイントネーションの違いに気づいた人もいるかと思います。学校の生徒は時折「先生違うよ」って私の言葉を否定します。しかし、それは間違いでしょうか?私の発する言葉も違いはあるけれど、間違いではないと思います。逆に皆さん、群馬から離れた都市で普段使い慣れている言葉を使うとたちまち今度は自分たちが「あれっ、変だよ」と言われるかもしれません。他にも、次に今ここにいる人を見渡してみましょう。メガネをかけている人は何人いるか数えてみて下さい。次に女性は何人いるでしょうか。このように実際に1人ひとりまったく違う形態をしています。目に見えることでさえ、こんなに違があるのだから、目には見えない考へ方はもっと複雑で様々な考へがあるということを再度今日、この場で考えて欲しいと思います。実際にこのように私がここで偉そうに話をしていますが、このことを自分なりに消化して「違って面白い」と強く感じるようになったのは学生の時にブラジルに留学した経験の時だと思います。

「ブラジルのちょっとした話」

「have fan?」

場所は変わり、日本では現在私は教員という仕事をしていますが、その中でも現在ここで呼ばれている理由は「インターフェスティバル」というボランティア部のような部活動の顧問をしていることと関係があると思います。インターフェスティバル部員は現在30名いますが、その生徒に時折話をすることがあります。それは、この活動をするにあたって「自己犠牲感」で取り組んでいることは良くないということです。自分が今取り組んでいることに犠牲が伴うとそこに普通は不満や不平が出てきます。まずは自分がしていることを楽しむことが大切だと思います。そうすれば、人との違いを知るのも楽しめるはずですし、ボランティアをするのも楽しめると思います。つまり、皆さんの場合では「現在していることを楽しんで下さい。」ということを伝えたいのです。